

柏市 農業委員会だより

第44号

発行 柏市農業委員会 〒277-8505 柏市柏五丁目10番1号 ☎(04)7167-1111 (代表)



江口博幸さん、さや香さんご夫婦(布瀬地区)

夢は海外展開！ 夫婦二人三脚で六次産業化

柏市布瀬にお住まいの江口博幸さんは、農家を継がれて30年。主にコメとネギの栽培に注力して来ましたが、近年の市場価格低下が大きな課題となっていました。

そこで農業の将来を憂いて一念発起、平成29年3月に「株式会社エグチライスファーム」を起業し、「作りたいのは、百年後の農業のカタチ」をスローガンに掲げて、現在は千葉県産業振興センターの支援を受けながら、奥様のさや香さんと共に新商品開発に取り組んでいます。

開発に当たっては、消費者の嗜好などのマーケティング分析からスタート。健康に関心のある若い女性層をターゲットに定め、ライフスタイルや日常の食事シーンをイメージした一口サイズのお餅を考案するに至りました。

現在は、自慢の特別栽培米を材料に、市内の和菓子屋さんと協力して、最終的な商品化に向けたテスト販売を進めています。

さらに、今後の販路拡大も視野に入れ、平成30年10月には食の安全や環境保全に取り組む農家に与えられる品質管理基準「JGAP認証」を東葛飾地域の水稻農家で初めて取得しました。

夢は海外展開。柏で生まれた安全安心な玄米餅を、パリやニューヨークなど、世界中の人たちに食べてほしい。眼を輝かせながら語るご夫妻の姿が印象的でした。

(記事・写真 秋谷 昌治 編集委員)

平成30年度

農山漁村いきいき研修会 事例発表

谷田貝和代委員

平成30年7月20日、「千葉県農山漁村いきいき研修会」が、千葉市生涯学習センターで開催されました。この研修会に、農業委員の谷田貝委員が、業種別女性活躍事例発表者として参加されました。

この研修会は、豊かで活力ある千葉県の農林水産業への女性の経営参画や社会参加をさらに進めるため、業種別の実践事例から取組を学び、今後の女性の活躍と男女共同参画の推進に資することを目的として、千葉県農山漁村女性団体ネットワーク及び千葉県の主催により開催されました。



事例発表者 谷田貝委員

「私たちが農山漁村で輝くための第一歩」をテーマに、野菜（谷田貝委員）、水稲、果樹、漁業、養蜂、林業などの業種別6人の方が発表しました。

事例発表のなかで谷田貝委員は、生産量の日本一と言われている柏の小かぶを栽培している農業委員の谷田貝ですと、自己紹介から始まり、

○ 柏駅からほど近い住宅に囲まれた中での農作業の大変さ

○ 小学生の『かぶ農家の視察』での子供たちとの楽しいやり取り

○ 柏市で最初に女性の農業委員になったエピソード



作業場に束ねられた 真っ白なカブ

などを、話されていました。そして、

「今後、女性の農業委員を増やしていくことが課題かなと考えています。農業者の女性が時間をさいて外へ出るといことはとても大変なことだと思いますが、家族の理解を得て、ぜひチャレンジしてほしいです。視野が広がるとも勉強になります。」と、発表されていました。

千葉県女性農業委員の会

ブロック別研修会開催
〈千葉・東葛飾地区ブロック〉

現在、県内の女性農業委員・推進委員は90名近くになりました。そこで今年度から県内を5つのブ

ロックに分けて、ブロック別の研修会が初めて開催されました。

千葉・東葛飾地区のブロックでは、平成30年11月26日、女性農業委員・推進委員17名が参加して、我孫子市『水の館』で研修会が行われました。本市からは石井マサ子委員、谷田貝和代委員が出席しました。

昨年度から水の館1階に開設された、農産物直売所「あびこん」の視察を行ったほか、我孫子市援農ボランティアの取り組みについて、あびこ型「地産地消」推進協議会の方を講師に迎え、事業内容や活動、課題等について貴重なお話をうかがいました。

また、女性農業委員・推進委員が直面する問題や今後実施したい研修内容など、活発な意見を出し合い、交流を深められました。



ブロック別研修会に参加した 谷田貝委員・石井委員

家族経営協定調印式開催

〜ゆとりある農業経営をめざして〜

平成31年1月18日、23日に、家族経営協定制度の推進母体である千葉県葛飾農業事務所農政課、農業委員会事務局の立ち合いのもと、調印式が開催されました。

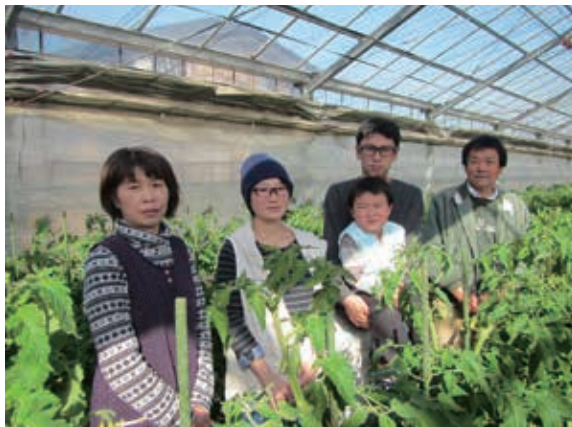
今回は、2組の方が協定書の取り交わしを行い、柏市で家族協定を結んでいる方は25組となります。



布施地区の関根さん「家族

「家族経営協定」とは

農業は家族の協力のもとになりたっています。家族経営協定は家族の経営方針や営業計画・役割分担・収益分配・働き易い就業条件などを話し合い、一人ひとりの役割を見直すことにより、お互いの意思・情報を共有化し経営に活かすものです。



大青田地区の鈴木さん「家族

農業委員会先進地視察研修

山梨県

去る平成30年10月11日(木)・12日(金)に北杜市農業振興公社及び山梨県総合技術センターで視察研修を実施しました。

◎北杜市農業振興公社

北杜市が行っている耕作放棄地解消・発生防止等の取り組み等の説明を受け、荒廃農地解消の現場視察を行いました。

北杜市は、平成16年及び平成18年に8町村が合併し誕生しましたが、高齢化等で不耕作地が増加。市内農地の約17%が不耕作地とのことでした。

しかし、近年食の安全性がクローズアップされ、企業が自ら農業経営を行うようになったことや北杜地域の農業ポテンシャルの高さ(日照時間が長いこと、交通アクセスが良い等)から北杜地域の農業への企業参入が促進されており、不耕作地の解消に繋がっているとのことでした。

◎山梨県総合技術センター

視察した甲斐市にある技術センターは、県内3つの研究施設を統

括し、病害虫に関する研究、鹿、イノシシ対策、初期段階の栽培手法等様々な研究を行っているとのことでした。現在行っている研究は、イチゴ、パイナップル、ぶどう、なす、トウモロコシ等で、それぞれの栽培の様子やポイント等を教えていただきました。

特にイチゴは、県内に洋菓子メーカーがあり、洋菓子に使うのが最も付加価値が高いことから、夏取りイチゴの研究やICTを活用したハウス栽培の研究を行っているとのことでした。

また、ワイン製造の為に甲州ぶどうの収量を増やすため、苗木の研究をやり始めたとのこと、地域の特性や強みを更に活かそうと日々研究をしているようでした。

(事務局)



企業が参入した地区を視察(北杜市)

貸借料情報の提供

平成30年1月～12月までに締結(公告)された貸借借で
賃借料水準(10a当たり)は、次のとおりです。

1【田(水稲)の部】					
締結(公告)された地域名		平均額	最高額	最低額	データ数
旧柏市地域	基盤整備地域	22,300円	22,500円	15,000円	253
	基盤整備地域外	—	—	—	0
旧沼南町地域	基盤整備地域	21,300円	34,000円	15,000円	61
	基盤整備地域外	—	—	—	0
(参考) 柏市平均		21,800円			314

2【畑(普通畑)の部】					
締結(公告)された地域名		平均額	最高額	最低額	データ数
旧柏市地域	基盤整備地域	—	—	—	0
	基盤整備地域外	18,600円	30,000円	10,000円	14
旧沼南町地域	基盤整備地域	19,200円	20,000円	19,000円	6
	基盤整備地域外	20,900円	43,600円	10,000円	14
(参考) 柏市平均		19,600円			34

- * 1 データ数は、集計に用いた筆数である。
- * 2 賃借料を物納支給(水稲)としている場合は、60kg当たり15,000円に換算している。
- * 3 金額は、算出結果を四捨五入し100円単位としている。
- * 4 「(参考) 柏市平均」の平均額は、各区分の平均値をデータ数により加重平均した値である。
- * 5 必要データ数を5件以上としているため、数値が出ていない地域がある。
- * 6 基盤整備地域とは、田園地帯などの区画や圃場が整備された農地である。

平成30年度柏市遊休農地調査結果 (単位面積：㎡) 表内()は農用地区域内

地区	田		畑		計	
	筆数	面積	筆数	面積	筆数	面積
柏	157 (11)	53,623 (5,486)	26 (0)	9,069 (0)	183 (11)	62,692 (5,486)
田中	15 (0)	12,992 (0)	17 (2)	12,854 (3,486)	32 (2)	25,846 (3,486)
土	4 (3)	4,230 (3,292)	10 (0)	6,611 (0)	14 (3)	10,841 (3,292)
富勢	17 (7)	18,955 (9,872)	27 (20)	44,436 (38,514)	44 (27)	63,391 (48,386)
風早	86 (48)	68,757 (40,999)	30 (4)	31,066 (4,219)	116 (52)	99,823 (44,718)
手賀	251 (113)	157,535 (89,616)	141 (2)	88,677 (2,615)	392 (115)	246,212 (92,231)
計	530 (182)	316,092 (148,765)	251 (28)	192,713 (48,834)	781 (210)	508,805 (197,599)

平成31年産のたけのこの販売等について

出荷及び販売の流れは、次のとおりです。

① 今春に県が柏市内で実施する出荷前検査(無作為に1力所)の結果が基準値(100Bq/kg)以下であること。

② 平成27年3月以降に県または市の検査を受けている竹林で、過去の検査においても50Bq/kg以下であった竹林に関しては、①の検査終了後に市から通知を郵送。

③ 未検査の竹林は、県または市の検査を受け、出荷可能なたけのこであることが確認された後、市から証明書を交付。

なお、県や市の検査を受けるためには、事前の申し込みが必要です。詳しくは農政課まで。

☎ 04-7167-1143

編集委員会委員長 谷田員和代
編集委員会副委員長 秋谷昌治
編集委員 関根勝敏
編集委員 金子幸司
編集委員 増田直晴